

平成 27 年度 第 1 回千歳市総合教育会議 議事録

日 時：平成 27 年 5 月 28 日（木）9：00～10：20

会 場：千歳市役所議会棟 2 階大会議室

出席者

（構成員）市長	山口 幸太郎
教育委員長	山田 律子
教育委員	佐々木 義朗
教育委員	阿部 弓枝
教育委員	明石 光正
教育長	宮崎 肇
（事務局）企画部長	千葉 英二
企画部次長	鈴木 隆夫
企画課長	林 伸一
企画課企画調整係長	山田 浩之
企画課企画調整係主任	中谷 裕子
（教育部）教育部長	島倉 弘行
教育部次長	澤田 徹
教育部次長（学校指導担当）	西野 典男
企画総務課長	荒川 裕昭
企画総務課総務係長	堀田 裕

内 容

企画部長

本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

ただいまから、平成 27 年度第 1 回千歳市総合教育会議を開催させていただきます。

本日協議いたします、千歳市総合教育会議設置要綱が定まるまでの間、進行役を務めさせていただきます、企画部長の千葉でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、ここで山口市長からあいさつをお願いいたします。

市長

おはようございます。

ただいま案内がありましたように、総合教育会議の第 1 回目ということで、大変意義深いものと考えております。この会議は、法律の改正によって義務付けられたものであり、教育委員会と市長部局がより一層連携を密にして、市民の目線に立って、教育をまちづくりと絡めて進めるという趣旨であります。本市においてはかねてから、教育はまちづくりの一環という観点から関係部局と連携を図ってきたところでありますが、今回はこの法律に裏打ちされたことにより、一層厚みを増し、広がりを持つものと考えております。

今後、この会議を通じた皆さんとの連携により、教育の充実さらにはまちづくりの拡充に向け取り組んでまいりたいと考えております。本日はありがとうございます。

企画部長

続きまして、教育委員の皆さんに、自己紹介を兼ねてごあいさつをいただきます。
山田教育委員長お願いいたします。

山田委員長

おはようございます。

この度の総合教育会議の構成員の一人として入れていただき、またこれまでとは少し異なる角度から勉強させていただき、思いをお伝えすることができる機会を得ましたことを大変ありがたく感謝いたしております。どうぞご指導いただきますよう、お願いいたします。

企画部長

佐々木委員お願いいたします。

佐々木委員

おはようございます。

平成 18 年から教育委員を拝命し、現在は、委員長職務代理者をさせていただいておりますが、山田委員長からのお話のとおり、幅広く教育を考えていくという、今まで以上に責任のある立場にこれからなるかというところであります。そういった意味では、まだまだ勉強不足の部分もありますので、この会議の中で様々な意見をお聞きし、また、自分自身も活発に意見を出していく中で、この会議を活性化していけるような一人となっていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

企画部長

阿部委員お願いいたします。

阿部委員

よろしくお願いいたします。

平成 19 年から教育委員を拝命いたしまして、現在 2 期目となります。この度、このように市長と教育委員が協議できる場をいただいたことに対して感謝を申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

企画部長

明石委員お願いいたします。

明石委員

おはようございます。

平成 20 年から教育委員を拝命いたしました。この会議を通じて、教育に関する協議ができる機会が増えることについて、非常に嬉しくまた大変期待をいたしておりますとともに、教育という国の根幹をなし、千歳市の発展につながるものに携わることについて、その責任の重さを改めて実感しております。微力ではございますが、力の限り取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

企画部長

宮崎教育長お願いいたします。

宮崎教育長

おはようございます。

新たに設置されました、この総合教育会議を通じまして、これまで以上に市長と連携を図り、千歳市の教育の充実を一層進めてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

企画部長

それでは、本日の議題に入ります。

議題の1点目、千歳市総合教育会議設置要綱（案）について、事務局より説明いたします。

企画課長

要綱につきましては、お手元に2種類の資料をお配りしております。両面刷りの1枚もの「設置要綱（案）」は条文のみを記載しており、両面8ページ4枚もの「設置要綱（案）の解説」は要綱の条文ごとに解説しているものです。要綱（案）については全10条で構成しております。

それでは、解説に沿って各条文ごとにご説明いたします。なお、解説に記載している事項は、主に国がこの法律の解釈としているものを引用しております。

（別紙「千歳市総合教育会議設置要綱（案）の解説」に沿って説明。）

企画部長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等がありましたらお願いいたします。

全員

ありません。

企画部長

それでは、「千歳市総合教育会議設置要綱」については原案のとおり決定とさせていただきます。

これにより、会議の進行につきましては、要綱第4条第1項の規定により、市長が議長となり進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

市長

この総合教育会議設置要綱について、ただいま皆さんにご賛同いただきましたが、ここで一番大事なことは、お互いの意思決定を尊重するということであります。まだ始まったばかりですが、今後皆さんと密に連携を図っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題の2点目、千歳市教育大綱（案）について説明をお願いします。

教育部長

千歳市教育大綱（案）について、お手元に資料をお配りいたしました。パワーポイントを使ってご説明いたします。

少子高齢化や高度情報化、グローバル化、核家族化などとともに、価値観やライフスタイルの多様化、地域コミュニティの希薄化など、社会情勢が大きく変化しております。そういった中で地域における教育の充実が重要となっております。こうした時代に対応した人材を育成するため、ふるさと千歳で子どもたちが生き生きと学び、育つことができるよう今後の千歳市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針を示す「千歳市教育大綱」を定めます。

（別紙「千歳市教育大綱（案）」について説明）

この度の教育大綱は、基本方針として「ふるさと千歳への感謝と希望を育てる」「国際都市にふさわしいグローバルな感覚を育てる」「知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる」「学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち」の4つを掲げており、それぞれの具体的な項目で構成しております。今後はこの方針に基づいて、学校・家庭・地域が力を結集し市長と教育委員会がさらに連携を密にして、この千歳市教育大綱の実現を目指すものであります。

市長

ただいま大綱についての説明がありましたが、これについて協議をしたいと思います。皆さん、何かございませんか。

山田委員長

この度の総合教育会議に向けて、これまで何度かご説明をお聞きする場面がありましたが、本日が一番わかりやすく感じました。

さて、ただいまご説明いただきました大綱についてですが、「第1章の2 関連計画との整理」では、第6期総合計画との整合性をとりつつ、学校教育基本計画、生涯学習基本計画を踏まえて策定されているということとなっております。実際には、市長部局としては今後具体的にどのように教育委員会と連携を図っていくのでしょうか。

企画部長

すでに市長から、総合教育会議での協議事項の検討を行うことや、総合教育会議で協議・合意された事項等について着実に推進することなどを目的とした会議を設置し、教育委員会と市長部局との連携が密に行える体制を整えるよう指示を受けております。

今後、この新たな会議の設置に向けて教育委員会と調整を行ってまいります。

山田委員長

具体的な会議が設けられるということですね。わかりました。

市長

その会議においては、定例的なテーマとその時々に応じたテーマについて調整をすると

ということですね。

企画部長

はい、この総合教育会議が定例的なものですので、ここに諮る事項について調整することはもちろん、その時々すぐに対応すべき案件についても、この新たに設置する会議において情報を共有するとともに、必要があれば協議・調整していきたいと思っております。

市長

全国の課題と、北海道の課題が必ずしも一致するとは限らないですよ。全国的には課題になっているものが、千歳市ではそうでない場合もある。これについては、その会議においてよく協議・調整するということになりますね。

他に何かございませんか。

佐々木委員

この教育大綱の中には、非常に千歳らしさが出ていますし、これが平成 32 年までに着実に進んでいけば、素晴らしい教育が実現されると感じました。そこで、この教育大綱の実効性はどのように確保されていくのでしょうか。

教育部長

この教育大綱には、本市において既に策定されている「学校教育基本計画」及び「生涯学習基本計画」の具体的な施策の事務事業が位置付けられています。日々、この2つの計画に基づきまして学校現場、社会教育現場並びに教育委員会関係部局が業務に当たっております。そういった意味では、基盤がしっかりできており、その上での教育大綱という位置付けでありますので、この実効性についてはこの各計画を実行していくことで確保されていくものだと考えております。また、市長とも連携しながら事務事業について毎年度予算化をしておりますので、そういった中で実現を図っていくものであります。

市長

他に何かございませんか。

阿部委員

この大綱の期間は、6年間という長いスパンですが、社会情勢の変化は早いものがあります。これに対応するために、この間で、大綱の見直しを行うということはあり得るのでしょうか。

教育部長

大綱の期間は、平成 27 年度から平成 32 年度の6年間としていますが、これは第6期総合計画の計画期間に合わせたということと、学校教育基本計画及び生涯学習基本計画が平成 32 年度までということによるものです。このうち、第6期総合計画及び生涯学習基本計画については、現在、後期計画に向けて見直しを行っているところであり、この大綱につきましても、社会情勢の変化に応じて6年間の間に随時見直しを行うことができると位置付けております。その際には、この総合教育会議において協議・調整を行っていただき、

大綱の一部見直しを図ることが可能となっております。社会情勢に応じて柔軟に見直しを行っていきたいと考えております。

市長

第6期総合計画については、前期の5年が今年で終わりますので、来年からの後期計画に向けて見直し作業を行っております。顕著なものとしては、「千歳市移住・定住プロジェクト」において平成32年の人口設定を97,000人としたように、総合計画の当初の目標値である95,000人を変更しております。その時々時代の情勢に応じて変えることは、必要なことであり、この大綱についても、まちづくりと教育は一体ですから、同じように総合計画との整合性は図っていかねばなりません。また、その必要性についてはこの会議において議論をさせていただきたいと思っております。

他にはございませんか。

なければ、大綱の策定については原案のとおり承認していただくということでよろしいでしょうか。

全員

異議なし。

市長

それでは、このとおり策定し公表することとします。

次に、議題の3点目その他について、この機会に自由な発言をお願いいたします。

明石委員

今回、このように市長と教育委員会の協議の場が正式に設置されましたことは、私たち教育委員にとって大変ありがたいことと感じると同時にその責任の重さを実感しているところですが、本日の会議に対する市長のご感想をお聞かせください。

市長

この会議が設置されたことは大変有意義なことと思っております。現在市長に就任して4期目となりましたが、冒頭でも申し上げましたように、当初から教育の在り方について大変関心を持っておりました。仕組みや制度に関しても現状のままでよいのかという疑問も持っており、教育委員会、委員の皆さんとも色々お話しをしまいましたが、3期目に宮崎教育長に行政から初めて教育委員として入っていただきました。市長部局と教育委員会が同じテーマをそれぞれの観点から議論し合うことは大変大事なことでと常日頃から考えておりましたので、今回法律で裏打ちされ、オフィシャルな形でこのような会議を開催できるということは大変意義深く、実のあるものにしたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

他にございませんか。

山田委員長

市民の目として、また、かつて学校現場にいた者の立場からすると、現在全小中学校に導入されましたICT機器について理解を示していただき、予算を付けていただきました

ことに感謝いたします。この授業を受けている子どもたちの授業への反応が大変良く、このように整備された環境で教育を受けられる子どもたちが幸せだと感激しております。

市長におかれましては、この電子黒板などの整備と学力の向上に対して、どのようなお考え・思いで理解をいただけたのか、お聞きしたいと思います。

市長

私としては、このような有用な機器整備についてどうしてもっと早く気が付かなかったのかという反省があります。

今回、全ての小中学校に整備しましたが、私も見学に行き委員長と同じように感激いたしました。ビジュアルの世界にいる現在の子どもたちにとって、関心が高まるということは間違いないと感じております。そういう意味では、子どもたちが持つ才能が一層加速して伸びてゆくのだと思います。しかし、反面、それに頼らない情操的な教育、心の在り方などを大切にされた教育と併せて行う必要があると感じております。機械が万能な社会である、と子どもたちが勘違いしてしまわないよう指導する必要があると考えております。

山田委員長

学校ではその活用方法を工夫しており、映し出すことと並行してノートづくり、討論など様々な手法で授業を展開しております。この電子黒板を使って、心の豊かさを生み出せるような授業ができればと願っております。

市長

先生の個性が機械を使いながらも発揮できるような教育を行っていただきたいと思っております。

教育長

補足ですが、電子黒板はあくまでも先生の授業力を高めるための補助の道具であります。この良いところは、教材作りに時間がかからない、子どもたちへ分かりやすく指示を出すことができるという点で授業が効率化されるということです。現場においては、電子黒板を使いながら先生の指導力を高めるということを常に心がけて実践しております。

市長

他にございますか。

佐々木委員

最近、全国的に車が通学路に侵入して児童を事故に巻き込むケースが増えていますが、子どもたちが安全・安心に社会で過ごすためには、市長部局を含めた全市的な取組が必要だと思います。もちろん、現在も千歳っ子見守り隊の方々には通学路のいたるところで子どもたちの見守りに尽力していただいております。今後も市長部局とより連携協力していく体制が必要であります。市長はどのようにお考えですか。

市長

これまでも、通学路をはじめとして子どもたちの通る道路や柵の整備及び除雪に関して

は優先して行ってきましたし、これからも続けていきます。また、危険な所については今後教育委員会と調整をして対策を行っていきます。そして、佐々木委員がおっしゃった見守り隊の方は1,000人ほどいらっしゃいますが、子どもたちの交通指導をするだけでなく、声掛けにより見守りを行っていただいております。この声掛けが何よりの交通安全教育につながっていると考えております。今後も、ハード面ばかりではなくこうしたソフト面も充実させていくべきであると考えております。

教育長

通学路の件については、平成24年度の京都府の事故を受けて、国から通学路の総点検について通知があり、関係部局による総点検を行っております。このような取組はこれまで以上に行っていく必要があります。

阿部委員

市長と教育委員会が協議することで、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して実現に当たることができることは、素晴らしいことだと思います。市長は、今後、この総合教育会議でどのような議論を行いたいと考えていますか。

市長

設置要綱の解説の中に「会議の協議題とするべきはないとされている事項」がありました。この事項に関して協議し決定するようなことは考えておりませんが、議論すること自体については問題ないと考えております。基本的には、事前に調整を行い、手順やルールを踏んでいけば、幅広いテーマで議論することができると考えています。

教育はひとつづくりであり、ひとつづくりはまちづくりの基本ですから、全てのテーマを考えております。

明石委員

先ほどからICT機器の有用性などが話題になっていますが、その反面、小さい頃からそういった機器の扱いに慣れている子どもたちのネットトラブルや犯罪の被害が急増しています。こういった中、千歳市PTA連合会(市P連)が「千歳市家庭生活宣言」を公表しましたが、市長は家庭教育の必要性についてどのようにお考えですか。

市長

家庭の決まりごと、生活習慣というのは非常に大切ですし、今回の市P連の取組は非常に良いものだと思っております。これについては、是非各家庭にPRしていただきたいと思っております。

教育長

各学校では学校だより、我々も教育委員会だよりなどでPRしております。実効性を高めるため、アンケート調査によりこの浸透度を測るなどの市P連の取組について、教育委員会としても支援していきたいと思っておりますし、学校・市P連・教育委員会が常に連携して取り組んでいく必要があると考えております。

佐々木委員

これから子どもを育てていく若い親たちに、この取組を浸透させることも大事だと思います。

市長

それは大切なことです。その方策などについて、担当部局とも連携して検討する必要がありますね。

教育長

ネットトラブルとしては、警察庁の調べでは、平成 26 年中のコミュニティサイトに起因した犯罪の被害児童数が 1,421 人となり、前年比+9.9%ということでした。外からは発見しにくい世界ということもあり、このような状況になっていると考えられます。ですから、親がしっかり子どもに対して指導していくということと、自分で自分を守るということを小さい頃から教えていくことが大切だと思います。

市長

色々なお話がありましたが、今後この総合会議においてその都度協議させていただきたいと思います。

以上をもちまして、本日の議題はすべて終了としてよろしいでしょうか。

全員

はい。

企画部長

それでは、第 2 回会議についてお知らせをいたします。9 月上旬に教育施策の進捗状況、全国学力状況調査の結果等を議題として開催する予定ですが、緊急に開催する必要がある場合は、その案件ごとに随時開催のご案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、平成 27 年度第 1 回千歳市総合教育会議を終了いたします。

本日は大変ありがとうございました。